

南部片富士湖だより

No. 63 平成23年 8月30日 発行

北上川ダム統管理事務所 管理第二課

〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地 TEL 019-643-7972 FAX 019-643-7976

ダム自然塾

～北上川流域学実習～



ダム自然塾とは

環境・利活用・ダム管理の3つのテーマに分け、実際に地域で活動している人や、現場で働く人たちから体験指導を受けながら学び、水源地域の将来あるべき姿を考えることにより、ダムに対する認識を深めることを目的に開催しています。

8月6日(土)、四十四田ダム及び北上川・雫石川を会場に『ダム自然塾(北上川流域学実習)』が開催され、岩手大学の学生11名が参加しました。

ダム自然塾は、午前四十四田ダムものしり館にて、北上川ダム統管理事務所職員による「ダムの働き～胆沢ダム・四十四田ダムの概要について～」と題しての講義がありました。その後、北上川をゴムボートで下りながら河川環境や川の安全について学びました。

午後は、学生サポートによる子供の川の安全教室と川遊びをし、楽しみながら川の安全について学びました。



職員の講義を熱心に聞いています



四十四田ダム下流からゴムボートで川を下ります

☆ ダム見学 ☆

8月2日(木) 弓川結いネットワーク

夏休みを利用し訪れたのは、一関市内の親子ペアや幼稚園児などあわせて52名です。

川の環境改善学習を目的に、四十四田ダム内部や四十四田発電所を見学しました。

8月5日(金) ヒューマンライフ

四十四田ダムや北上川を知ろうと、一般企業の方4名が見学に来れました。

見学は、ダム操作室でも行い、ダム管理について熱心に説明を聞いていました。

8月19日(金) 菅原さんご家族

個人で申込のダム見学は、自然エネルギーについて学ぶために訪れました。

四十四田ダム内部や四十四田発電所を見学し、夏休みの課題として取り組むそうです。



全員で記念写真



操作室にてダム管理について説明を聞いています



ダム内部見学へ出発!

?? 四十四田ダムって ?? 《Vol.3》ダムって? ~ダムの役割~

「四十四田」については、南部片富士湖だより No.51号《Vol.1》で紹介したとおりですが、そもそも「ダム」って何？今回は、「ダム」について紹介します。

「ダム」は、英語で「dam」と書き、訳すと「せき、堰堤(せきてい)」という意味をもちます。わかりやすく言うと、「水をためる大きないれもの」です。

全国にあるダムの役割はそれぞれ違いますが、四十四田ダムは「洪水調節」と「発電」の2つの役割をもっています。

◎「洪水調節」とは・・・川の上流に降った雨をダムに一度ため、下流の川があふれないよう調節しながらダムから水を流します(図1)。ダムがなかった場合では、(図2)のように、川の水位が上昇し、建物が浸水する被害がおこります。

◎「発電」とは・・・ダムにためた水を使って電気をつくります。四十四田発電所の最大発電量は15,100kW、年間発電量は70,000,000kWhあり、この量は一般家庭のおよそ20,000軒分の電気量になります。

◇ 四十四田発電所の運転・管理は、岩手県企業局が行っています。

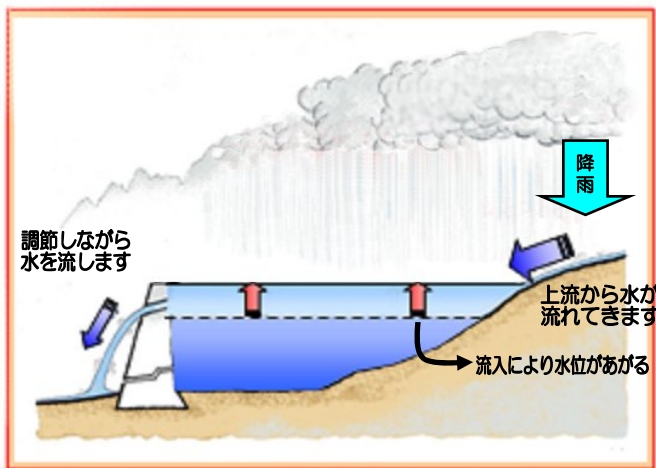


図 1 ダムの状況

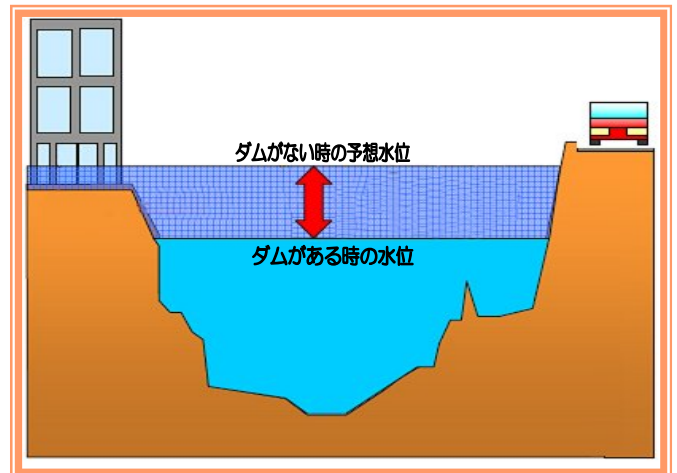


図 2 市街地でのダムの効果(川の断面)



四十四田ダムからのお願い

四十四田ダムにはたくさんの魚が生息しています。そのため、数多くの釣り人を見かけます。

ダム湖周辺は、夏場は草に覆われ足下が見えない箇所も多くあり、また石などにつまづく危険もありますので、十分に注意して釣りをしてください。

また、釣り針や糸・竿等は、使えなくなっても投棄したりせず、必ず持ち帰り処分をお願いいたします。



編集後記

ある日、スーパーでの買い物を終え車に戻るときの出来事です。

買い物袋を持ち、自分の車を確認しようと視線をうつすと、駐車中のある車の中に黒い物体が見えました。ネコ？イヌ？・・・鳥の足！？一瞬、頭の中がパニックになりながら、その黒い物体を二度見、三度見すると、正体はカラス。見間違いかまぼろしか、「飼いネコ」ならぬ「飼いかラス」とは何十年の人生の中でも聞いた事はありません。最終確認だけでも、と思いきや様子を見てみると、運転手とともに「飼いかラス」はダッシュボードの上に乗ったまま車は動き視界から消えていきました。自分はしばらくその場から動けなかったのは言うまでもありません。(福)



H23.8.26 秋空が広がりました